



プログラミングで世界を創れ！ Informatics Creators Magazine^{No.38}



IOI 2025 ボリビア大会・EGOI 2025 ドイツ大会 日本代表選手決定！

LINE UP

JOI 2024/2025本選 成績優秀者

JOI 2024/2025本選 奨励賞成績優秀者

JOIG 2024/2025本選 成績優秀者

JOI・JOIG合同表彰式

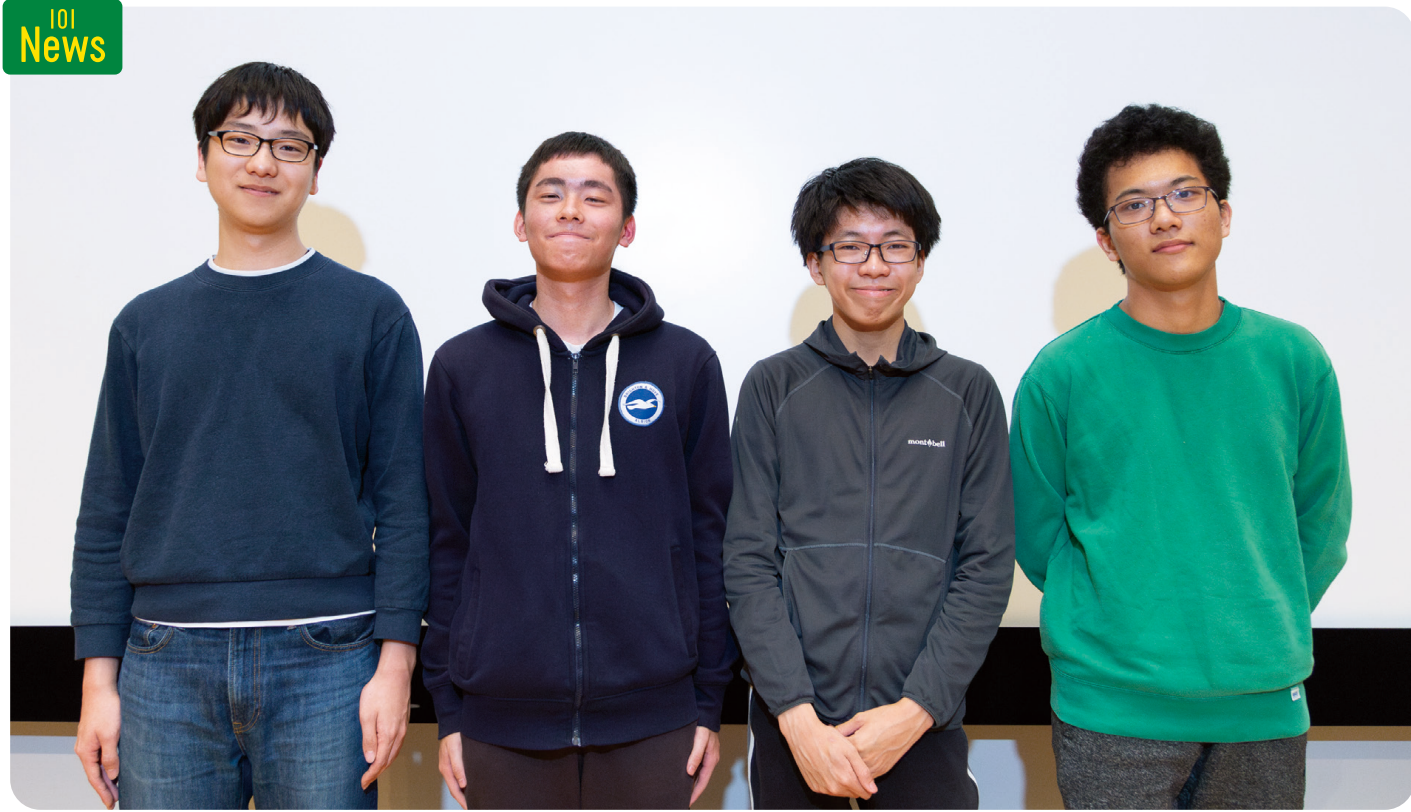
トップリーダーから君へ

株式会社日立製作所理事 技術戦略室室長 研究開発グループ 小池麻子
STORES株式会社 代表取締役CEO 佐藤裕介

情報オリンピック参加校の取り組み

JCIOI TOPICS

第25回日本情報オリンピックに参加しよう！／ご支援のお願い



第37回 国際情報オリンピック International Olympiad in Informatics 2025

IOI 2025 ボリビア大会 日本代表選手決定！



来る2025年7月 開催予定の「第37回国際情報オリンピック (IOI 2025) ボリビア大会」に出場する日本代表選手4名が決定しました。「第24回日本情報オリンピック (JOI 2024/2025)」予選に参加した3136名からJOI 本選での選考を経た、成績優秀者のうち高等学校2年相当以下の30名 (内4名欠席) による「JOI春季トレーニング」(3月20日～24日) をNTT DATA 駒場研修センターで実施しました。JOI春季トレーニングでは4回の競技 (各5時間3課題) ・解析・解説を中心に実施し、その結果に基づき、3月24日「第37回国際情報オリンピック (IOI2025)」の日本代表選手4名を発表しました。

国際情報オリンピック (IOI=International Olympiad in Informatics) は、情報科学 (informatics) を対象とするものであり、毎年、ホスト国を変えながら一週間にわたり開催されます。世界の約80の国・地域から高等学校3年に相当する学年以下の生徒達が集まり、数理情報科学の能力を競う智の競技会です。競技では、現実の問題をモデルにした与えられた課題に対する性能の良いアルゴリズムを設計し、さらに、それをプログラムとして適切に実装することが求められます。

この4名は、2025年7月27日～8月3日 ボリビア・スクレで行われる予定の「第37回国際情報オリンピック (IOI 2025)」に日本代表選手として参加します。

©第24回日本情報オリンピック (JOI 2024/2025)
実施要領はこちら <https://www.ioi-jp.org/joi/2024>



日本代表選手一覧

太田 克樹

筑波大学附属駒場高等学校 2年

坂山 航大

開成高等学校 2年

平澤 由埜

神奈川大学附属中学校 3年

松葉 大和

武蔵高等学校 2年

所属・学年は2025年3月時点／五十音順／敬称略



IOI 2025

日本代表選手の声

TEAM JAPAN ▶

OTA Katsuki



2大会連続 2回目選出

太田 克樹

筑波大学附属駒場高等学校 2年



昨年に続き、国際情報オリンピックの日本代表になることができ、とても喜ばしく思います。力を出し切れず、後悔の残る結果となった昨年と異なり、今年は、春季トレーニング4日間で、安定した成績を残すことができ大きな成長を感じました。

この競技に取り組んできた間、ずっと目標としてあり続けた IOI も、ついに今年が最後になりました。この中高の五年間を締めくくる、最後の大会を悔いのない形で終わられるよう、これからの四か月間、全力で取り組んでいきたいと思っています。

TEAM JAPAN ▶

SAKAYAMA Koudai



初選出

坂山 航大

開成高等学校 2年



昨年の春季トレーニングではプレッシャーに負けて大敗し、その悔しさを胸にこの一年間頑張ってきました。ついにラストチャンスである今回、競技プログラミングを始めてからずっと目指してきた、IOIの日本代表になることができ大変嬉しく思います。ボリビアでは、世界各地から来る選手との交流や、世界遺産である古都スクレの観光を楽しみたいです。

春季トレーニングでは、特に最終日には自分の力が出し切れず課題も見つかりました。これから本番まで練習を積み重ねて悔いの残らない結果を残したいと思います。

TEAM JAPAN ▶

HIRASAWA Yuya



2大会連続 2回目選出

平澤 由埜

神奈川大学附属中学校 3年



今年もIOI代表に選ばれたことを光栄に思います。春季トレーニングでは、他の人が低い点数にとどまっている中、一人だけ満点を取れた問題がある一方、非常に簡単なのに満点を取れなかった問題があったので、IOIまでに簡単な問題を落とさないことをより徹底したいと思います。

ボリビアやスクレのことをよく知らず、何に出会えるのかまだよく分かっていませんが、観光や交流は全力で楽しもうと思います。競技では去年は惜しくも銀メダルだったので、今年は金メダルを逃さないことを目標に戦おうと思います。

TEAM JAPAN ▶

MATSUBA Yamato



初選出

松葉 大和

武蔵高等学校 2年



国際情報オリンピックの日本代表になることができ嬉しいです。春季トレーニングでは、初日にパソコンや配布されたプログラムのトラブルに見舞われ、二日目には、他の選手が満点を取っている問題が解けず0点を取ってしまうなど色々なことがありましたが、残りの二日間では良い成績が取れ、なんとか日本代表になることができました。今まで競技プログラミングをやってきて良かったと思いました。

これからも鍛錬を続け、世界大会ではいい成績を残せるように頑張りたいと思います。



第5回 ヨーロッパ女子情報オリンピック European Girls' Olympiad in Informatics 2025

EGOI 2025 ドイツ大会 日本代表選手決定！

2025年7月開催予定の「第5回ヨーロッパ女子情報オリンピック（EGOI 2025）ドイツ大会」に出場する日本代表選手4名が決定しました。

「日本情報オリンピック第5回女性部門（JOIG2024/2025）」では、予選に参加した857名から、JOIG本選を経た成績優秀者のうち高等学校2年相当以下の15名（内2名欠席）が、NTT DATA 駒場研修センターで開催された「JOIG春季トレーニング」（2月20日～24日）に進みました。「JOIG春季トレーニング」では、講義・演習等に加え、3回の競技（各5時間4課題）を実施しました。「JOIG春季トレーニング」の成績上位者3名に、「JOI春季トレーニング」に参加した1名を合わせて、合計4名のEGOI 2025日本代表選手が発表されました。

ヨーロッパ女子情報オリンピック（EGOI=European Girls' Olympiad in Informatics）は、高等学校3年に相当する学年以下の女子生徒を対象としたプログラミングコンテストです。競技では、与えられた課題に対する性能の良いアルゴリズムを設計し、さらにそれをプログラムとして適切に実装することが求められます。EGOIは主にヨーロッパの国・地域を中心に開催されますが、ヨーロッパ以外の国・地域も招待されており、日本は2021年の第1回スويس大会から参加しています。

この4名は、2025年7月14日～7月20日ドイツ・ボンで開催される予定の「第5回ヨーロッパ女子情報オリンピック（EGOI 2025）」に日本代表選手として参加します。

©日本情報オリンピック第5回女性部門（JOIG 2024/2025）
実施概要はこちら <https://www.ioi-jp.org/joig/2024>



日本代表選手一覧

志村 瑛美
東京都立新宿山吹高等学校 2年

簀智 里奈
洛南高等学校附属中学校 3年

松長 侑南
渋谷教育学園幕張高等学校 1年

盧 馨儀
筑波大学附属高等学校 1年

所属・学年は2025年3月時点／五十音順／敬称略



EGOI 2025

日本代表選手の声

TEAM JAPAN ▶

SHIMURA Emi



2大会連続 2回目選出

志村 瑛美

東京都立新宿山吹高等学校 2年



去年のEGOIでは悲しいことにメダルに手が届きませんでした。引退して受験勉強に専念しようとも考えましたが、ここで引退したらずっと心残りになるような気もして、もう一回挑戦することにしました。

春季トレーニングでは、知識量も応用力も足りていないことを痛感しました。また、今年から競技日が3日に増えたせいか、体力不足を去年よりも深刻に感じました。夏まで勝つための精進をすると共に、体力もつけていきたいです。今度こそメダルをとってこれるようにがんばります。

TEAM JAPAN ▶

HATACHI Rina



2大会連続 2回目選出

簀智 里奈

洛南高等学校附属中学校 3年



今年もEGOIの日本代表として、国際大会に参加させていただけることを、とても嬉しく思います。ドイツで、様々な国のプログラミング好きの選手たちと交流し、競い合えるのが楽しみです。また、Excursionでは、日本とは違った文化を満喫したいです。

昨年の国際大会や今年の春季トレーニングでは、時間配分を間違えたり、取るべき小課題を落としてしまうなど、改めて自分の実力不足を痛感しました。その反省点を踏まえて、EGOI本番では悔いのない結果を出せるよう、夏までがんばります。

TEAM JAPAN ▶

MATSUNAGA Yuna



初選出

松長 侑南

渋谷教育学園幕張高等学校 1年



まずは、純粋に努力が実りうれしい気持ちです。この大会を支えてくださる運営の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。とはいえ、春季トレーニングでは特に実装力で自分の実力不足を痛感した点も多く、一層精進しなければと身の引き締まる気持ちです。

EGOIでは競技はもちろん、海外の選手と交流も楽しみたいです。そして、できるだけ良い結果を持ち帰れたらと思います。世界大会に行けなければ、ハウステンボスでヨーロッパを感じようと思っていたので、街並みや食べ物を楽しみたいです。

TEAM JAPAN ▶

RO Shingi



初選出

盧 馨儀

筑波大学附属高等学校 1年



一年程前に競技プログラミングを始めて以来、ずっと目指してきた目標であったEGOI日本代表になったことを嬉しく思います。春季トレーニングでは、長時間コンテストでの自身の戦略の脆さを痛感するとともに、周りの選手の強さに驚かされました。そこで得た知見を活かし、EGOI開幕までに更に実力をつけていきたいです。

ドイツでは、現地の食事や観光、他国選手との交流を楽しみたいです。日本代表の一員として恥じない、できるだけ良い色のメダルを持ち帰れるよう精進します。

トップリダーから君へ

イノベーションの力で
持続可能な社会を実現

株式会社日立製作所 理事 / 技術戦略室長 研究開発グループ 小池麻子

KOIKE ASAKO



昨今の生成AIの進展は、インターネット、携帯電話、ソーシャルメディアなどのイノベーション以上に、産業構造、社会構造、そして人々の価値観を大きく転換させる可能性を秘めています。現在でも、車の自動運転、コールセンターのオペレーション、MRI・CTなどの医用画像診断などだけでなく、システム開発、モノづくりの設計から製造、各種システムのオペレーションから保守まで、生成AIを活用するとともに、多くのサービスロボット・産業用ロボットも生成AIを活用し急速に進化しています。サイバー空間だけでなく、フィジカル空間においても生成AI無しでは成り立たなくなってきました。皆さんが社会人となるころには、多くの産業・生活の中で更にAI・ロボットを活用して、仕事の在り方も大きく変わっていることと思います。テクノロジーの進化、イノベーションはグローバルで加速しています。

文明の歴史を振り返りますと、イノベーションにより産業構造や社会構造の転換点を迎えてきました。蒸気機関、内燃機関、半導体などのイノベーションとともに、工業化・都市化を進め、生活スタイルを変え、物質的な豊かさを享受するとともに人々の価値観も変化させてきました。イノベーションによってもたらされた新たな課題もあります。例えば、工業化による公害や、都市化による感染症拡大もその一つですが、サイエンスやテク

ノロジーの力によって克服してきました。

一方、解決が難しい課題もあります。例えば、ソーシャルメディアによる世の中の分断の加速、生成AIを使ったフェイクニュースの氾濫は、人間が作ったテクノロジーに人間が支配・翻弄されているとも言えます。この解決には国家、もしくは国家を超えた適切なガイドライン・規制が必要でAI倫理も重要な課題です。

また、工業化に伴う広範な汚染と地球温暖化、それに起因する異常気象、海面上昇、砂漠化など、生態系を崩壊させかねない状況となっており、プラネタリー・バウンダリー（地球環境が許容できる限界）を守ることは社会の持続可能性実現に重要です。社会の持続性担保と経済成長をトレードオンするためのイノベーションが期待されています。

例えば、CO2削減に向け、天候の影響を受けやすい風力や太陽光などの再生エネルギーをより多く使うためのエネルギー調整力をAIを活用して整備することや、バッテリーなどプロダクトのリサイクルをMaterial informaticsの力で実現するなど、アイデアとテクノロジーで一つ一つ社会課題は解決していく必要があります。

日本企業はハードウェア領域での成功体

験からソフトウェア志向への転換が遅くなった傾向はありますが、AI・デジタルの重要性は益々増しています。デジタル産業でグローバルに成長するチャンスはいつでもありますし、デジタル化によって、より一個人であるリーダーの影響が大きくなっていると思います。皆さんが、グローバルに学び、これだという熱中する対象を見つけて、持続可能な社会に向けたイノベーションを起こすことを心から期待しています。

HITACHI

株式会社 日立製作所

ITxOT(operational technology)xプロダクトによるソリューションを提供し、お客様や多様なステークホルダーと協創しつつ、社会課題を解決する社会イノベーション事業をグローバルに推進しています

自由になるために

STORES株式会社 代表取締役CEO 佐藤裕介

YUSUKE SATO



昔の人は、石や木に線を刻んで数を数えました。カチカチ、コツコツ…その音を聞いていると、まるで小さなリズムが身体に宿っていたように感じます。棒を握る手のひらの熱や息をつめる瞬間の鼓動まで含めて、ひとつの「計算」だったのかもしれませんが。その計算はいつしか人の頭の中へと移っていきました。もはや棒で線を刻まなくても、想像力の及ぶ限りどんな数や図形も扱えるようになったのです。目には見えないけれど、自分の内面に広がる自由な空間の中では、数字も記号も好きなように並べ替えられます。そこに干渉してくる人は誰ひとりいません。その内面世界では、現実には観測できない概念さえも自在に操れます。

たとえば虚数の「i」は、頭の中でこしらえた架空の存在ですが、複素平面を通じて多彩な方程式を解く鍵となりました。さらに、フーリエ変換のように波を周波数へ写し取る考え方や、高次元のベクトル空間で確率を扱う手法なども、最初は頭の中の世界で踊る概念にすぎなかったはずです。それでも人が思い描いた「見えないコンセプト」が、やがてはAIの学習モデルを支え、自然言語処理や画像認識を飛躍的に進化させています。

きっとあなたも使っているChatGPTが生まれるきっかけとなったトランスフォーマーモデル、その背後にある数式も、現実には

直接見えない数多のベクトルと行列のやり取りによって成り立っているのです。まさに「虚に居て実を行ふべし」という松尾芭蕉の言葉どおり、見えないものの中に身を置き自由に遊ぶからこそ、生まれる本当があるのではないでしょうか。外界は動かなくても妄想の中だけならいくらでも仮定を変え、次元を増やして発想を奔放に広げられます。そんな自由の積み重ねが、いつか現実社会に変化をもたらす—これは計算の世界が持つ最高の醍醐味だと思います。

もちろん情報技術が社会を便利にし、新しい未来を作り出す意義は大きいでしょう。でも、その前に「あなたの内面では、いま何が起きているのか」を想像してみると、ぐっと面白くなるはずです。誰にも邪魔されないその内心の広大さこそが、計算する身体と結びついて新しいアイデアをはらむ源になるのだと思います。

私自身妄想家で子どもの頃は、いつも寝る前に今日は何なことを想像しながら眠ろうかとワクワクしていたのですが、（だから眠るのがとても好きだった！）今ではポッドキャストの30分タイマーをセットして眠りにつくようになってしまいました。実はあの自由な空間が自分にとって大切なんだと気づいた時には、そのやり方も根気も失われてしまったようで少しさみしい気もします。

どうか自分の内側で生まれる計算や空想を大切にしてください。あなたが真剣にのめり込み、頭と体を連動させながら思考を重ねる時間こそ何より貴重な自由です。情報オリンピックは、その自由を思いぎり試し、遠くまで拡張するための舞台かもしれません。見えないものを信じ、形にする力をどうか存分に発揮してください。あなたがそこで見つける新しい景色を心から楽しみにしています。



STORES株式会社

「Just for Fun」のミッションのもと、小売、飲食、サービス業を中心とする中小事業者の店舗運営を支えるプロダクトを提供しています。事業者の持続的な売上成長をサポートし、個性豊かで多様な商いがあふれる社会を実現します

JOI 2024/2025

第24回日本情報オリンピック本選 成績優秀者

2025年2月2日に実施された「第24回日本情報オリンピック（JOI 2024/20245）」本選の結果に基づき、金賞1名、銀賞1名、銅賞1名、成績優秀賞32名（「第37回国際情報オリンピック」日本代表選手候補）を決定しました。

成績優秀者 同賞内での並びは氏名の五十音順／学年は全て2025年2月現在／敬称略

賞	氏名	学校名	学年
金賞	小熊 大翔	筑波大学附属駒場高等学校	高2
銀賞	平澤 由埜	神奈川大学附属中学校	中3
銅賞	太田 克樹	筑波大学附属駒場高等学校	高2



左から順に銀賞の平澤さん、金賞の小熊さん、銅賞の太田さん



優秀賞の皆さん

優秀賞	池本 悠生	宇部工業高等専門学校	高専3
	小田 真史	筑波大学附属駒場中学校	中3
	寛 敬介	筑波大学附属駒場高等学校	高1
	加野 琢雲	灘高等学校	高1
	狩野 慧志	長野県松本深志高等学校	高2
	加納 拓実	茨城県立並木中等教育学校	中等4
	辛嶋 嶺	栄光学園高等学校	高1
	川端 悠斗	埼玉県立大宮高等学校	高3
	川又 理樹	創価高等学校	高1
	木下 修一	東京学芸大学附属国際中等教育学校	中等5
	木村 友咲	灘高等学校	高1
	近藤 悠理	北海道札幌南高等学校	高2
	坂口 陽哉	麻布学園麻布高等学校	高2
	坂山 航大	開成高等学校	高2
	佐甲 瑛	筑波大学附属駒場高等学校	高1
	佐々木 俊介	東京都市大学付属高等学校	高2

	佐藤 晃宏	茨城工業高等専門学校	高専3
	関口 郁弥	筑波大学附属高等学校	高2
	関口 勇音	Kingswood School	高2
	高橋 洋翔	開成高等学校	高2
	永居 瑠依	愛光高等学校	高2
	中村 悠紀	東京都立武蔵高等学校	高3
	中山 幹太	早稲田中学校	中3
	旗智 里奈	洛南高等学校附属中学校	中3
	前沢 完斉	東京工業高等専門学校	高専3
	松井 智生	筑波大学附属駒場高等学校	高2
	松葉 大和	武蔵高等学校	高2
	山本 拓歩	東京都立日比谷高等学校	高2
	湯川 寛之	いわき市立内郷第一中学校	中3
	弓気多 珠門	筑波大学附属駒場中学校	中3
	吉田 侑樹	筑波大学附属駒場高等学校	高2
	吉野 弘晟	豊田工業高等専門学校	高専1

JOI 2024/2025

第24回日本情報オリンピック本選 奨励賞 成績優秀者

全国を6つのブロックに分けた各地域の本選における成績優秀者（金賞・銀賞・銅賞を除く）を奨励する制度「ブロック制」で、本年度は7名が表彰されました。



左から順に近藤さん、高橋さん、旗智さん、木村さん、永井さん、吉野さん（三原さんは欠席）

ブロック制 成績優秀者 学年は全て2025年2月現在／敬称略

ブロック	氏名	学校名	学年	学校所在地
北海道・東北	近藤 悠理	北海道札幌南高等学校	高2	北海道
関東	高橋 洋翔	開成高等学校	高2	東京都
中部	吉野 弘晟	豊田工業高等専門学校	高専1	愛知県
近畿	木村 友咲	灘高等学校	高1	兵庫県
	旗智 里奈	洛南高等学校附属中学校	中3	京都府
中国・四国	永居 瑠依	愛光高等学校	高2	愛媛県
九州・沖縄	三原 慶次郎	N高等学校	高1	沖縄県

JOIG 2024/2025

日本情報オリンピック第5回女性部門本選 成績優秀者

2025年1月12日に実施された「日本情報オリンピック第5回女性部門（JOIG 2024/2025）」本選の結果、金賞1名、銀賞1名、銅賞2名、成績優秀賞12名（「第5回ヨーロッパ女子情報オリンピック」日本代表選手候補）を決定しました。

成績優秀者 同賞内での並びは氏名の五十音順／学年は全て2025年1月現在／敬称略

賞	氏名	学校名	学年
金賞	旗智 里奈	洛南高等学校附属中学校	中3
銀賞	谷 瞳	久留米大学附設中学校	中3
銅賞	志村 瑛美	東京都立新宿山吹高等学校	高2
	盧 馨儀	筑波大学附属高等学校	高1



左から順に、銀賞の谷さん、金賞の旗智さん、銅賞の盧さん（銅賞の志村さんは欠席）

優秀賞	磯津 恵菜	渋谷教育学園幕張高等学校	高2
	伊藤 夕夏	盛岡中央高等学校	高1
	金 裕林	開智日本橋学園高等学校	高2
	答島 綾香	東京都立新宿山吹高等学校	高2
	澤田 環	筑波大学附属高等学校	高2
	田中 友佳子	横浜市立東本郷小学校	小6
	田村 悠花	久留米大学附設高等学校	高2
	夏目 理璃花	東京都立新宿山吹高等学校	高3
	藤居 快	札幌市立あいの里東中学校	中3
	古川 日菜子	桜蔭高等学校	高2
	松長 侑南	渋谷教育学園幕張高等学校	高1
	山崎 奈々	熊本県立熊本高等学校	高2



優秀賞の皆さん

2025年3月20日 NTT DATA 駒場研修センター JOI・JOIG 本選 合同表彰式

2025年3月20日、NTT DATA 駒場研修センターにて、「第24回日本情報オリンピック (JOI 2024/2025)」と「日本情報オリンピック第5回女性部門 (JOIG 2024/2025)」の本選合同表彰式が行われました。寛理事長の挨拶と経過報告から始まった表彰式は、株式会社NTTデータ 福永香織広報部長や、AtCoder株式会社 高橋直大代表取締役社長等から祝辞をいただき、協賛各社からの来賓や保護者などに列席いただきました。

金賞・銀賞・銅賞の受賞者には、メダル・副賞が、優秀賞にはクリスタル盾が授与されました。また、情報処理学会、電子情報通信学会から金賞・銀賞・銅賞の受賞者にそれぞれ若手奨励賞が贈られました。

表彰式終了後、場所をカフェテリアに移して、本選成績優秀者や本選参加者の希望者の交流会が開かれました。3年連続となるこのイベントでは、グループに分かれての自己紹介をきっかけに、笑顔と話し声が会場にあふれました。その後、グループを組み替えて、「ペーパーブリッジ」のゲームで競い合い、連絡先を交換したり写真を撮ったりと大盛況でした。

交流会の開催と並行して、表彰式に列席いただいた先生方10名を中心に「教員意見交換会」が行われました。生成AIをどのように授業に活用するのか、といった日ごろの課題に関する情報交換等が行われるなど、情報教育のさらなる進展に向けての意見が交わされました。



交流会のようす



受賞者に贈られたメダルとクリスタル盾



各校に贈られたJOIG杯（左）とJOI杯（右）

JOI 2024/2025 & JOIG 2024/2025

学校杯表彰

合同表彰式にて、情報教育に熱心に取り組み、成果を上げている学校に贈られる学校杯は、JOI杯は筑波大学附属駒場高等学校へ、JOIG杯は洛南高等学校附属中学校に授与されました。

JOI 杯	筑波大学附属駒場高等学校
JOIG 杯	洛南高等学校附属中学校

JOI 2024/2025 & JOIG 2024/2025

特別貢献賞・貢献賞表彰

合同表彰式において、教員を対象とした特別貢献賞2名と貢献賞20名が表彰されました。特別貢献賞・貢献賞とは、実施要領にある一括登録、もしくは指定校の制度を活用し、多くの生徒・学生を国内大会の参加に導くことで、情報教育の普及に寄与された教諭の方々に、感謝の意を表して表彰するものです。特別貢献賞は、100名以上参加いただいた学校の教諭が、貢献賞は、100名未満参加いただいた学校の教諭が対象となります。

特別貢献賞

同賞内での並びは氏名の五十音順
所属は2025年3月現在

阿部佳宣 先生

山形県立山形西高等学校



過去問が充実しており、苦手意識のある生徒も「100点を目指そう」と自ら目標を立てて主体的に学習に取り組む姿が見られたことが大変良かったです。1次予選を通過した生徒は、その経験を通じて自信を深め、自らアルゴリズムを調べたり改善しようとするなど、積極的な姿勢が見られ大きな刺激となったと感じています。

半澤弘光 先生

山形県立山形東高等学校



本校では、『情報I』の授業で学ぶプログラミングの基礎の定着と応用力育成を目的に、『情報オリンピック』を生徒に積極的に紹介、推奨しています。情報の授業を契機に、昨年度は100名超が1次予選を突破し、多くの生徒が自らの成長を実感しながら、主体的に学びを深めています。



貢献賞受賞の先生方

●表彰式の写真を公開しています

<https://www.ioi-jp.org/joi-2025/ceremony>



貢献賞

同賞内での並びは氏名の五十音順
所属は2025年3月現在

阿南統久 先生

茨城県立IT未来高等学校

飯田秀延 先生

東京学芸大学附属高等学校

市川圭一 先生

静岡県立浜松城北工業高等学校

金光康佑 先生

千葉県立佐倉高等学校

河井昇 先生

大阪府立天王寺高等学校

川崎美幸 先生

東京都立富士高等学校

金義博 先生

大阪府立四條畷高等学校

桑原英樹 先生

早稲田中学校

兒島宏樹 先生

神戸市立科学技術高等学校

佐藤義弘 先生

東京都立立川高等学校

中島智広 先生

茨城県立水戸工業高等学校

根岸秀典 先生

東京農業大学第二高等学校

橋本剛 先生

松江工業高等専門学校

長谷川卓也 先生

京都橋中学校

速水高志 先生

筑波大学附属高等学校

廣島伸彦 先生

光泉カトリック高等学校

藤田光博 先生

埼玉県立大宮高等学校

堀有 先生

静岡県立浜松工業高等学校

元井康賀 先生

摂津市立第一中学校

安成淳子 先生

山口県立下関西高等学校



情報オリンピック 参加校の取り組み



TOKYO Metropolis



東京学芸大学 附属高等学校

寄稿 飯田秀延 教諭

本校では、多様な分野でイノベーションを起こし国際社会に貢献できる人材を育てるために、生徒全員が探究活動を行い、外国の姉妹校との研究交流をはじめ

国際的な場でプレゼンテーションを行うなど、実験や実習などのフィールドワークを重視する教育活動を通して、本物に接し本物の学力を身につける「本物教育」を目指しています。

一方でSSHの指定を受けており、科学オリンピックへの参加も推奨されています。情報科では、3年前より1年生全員が履修する「情報I」の授業で、「情報オリンピック」への参加を推奨しています。2学期の前半、10時間程度「プログラミング」の授業でPythonを学習します。この時期は毎年、東京学芸大学から「情報科」の教員免許の取得を目指す教育実習生を5～10人程度受け入れているため、「プログラミング」の導入や演習は学生たちが主に担当しています。どのレベルの生徒にとっても「楽しい授業」

にするため、授業担当以外の学生はTAとして机間巡視をし、苦手な生徒のフォローをしたり、得意な生徒にレベルの高い課題を与えたりしてくれます。毎年、全員でわいわいしながら、工夫を凝らした授業をしてくれるため、教員の私も学生たちから多くの刺激を受けています。



KYOTO Prefecture



京都橘中学校・ 高等学校

寄稿 長谷川卓也 教諭

情報オリンピックに参加しているのは、主にロボットプログラミング部のメンバーです。部活動の内容は競技プログラミング、ゲーム制作、ロボット競技、情

報分野の探究など多岐にわたります。個人で取り組む場合もあれば、チームを組んで臨むこともあります。

部員たちは誰もが最初から「没頭できる具体的な何か」を持っているわけではありません。「何をするか」を自分で探し、考え、選んで活動しています。そのような中、情報オリンピックだけは、全員が参加することにしています。プログラミングの基礎を学べますし、実力を試すこともできます。競技プログラミングに打ち込んでいる部員にとって、本選は甲子園のような大舞台でもあります。部から4年連続で本選進出者が出ています。いつか本選を突破し、世界で活躍する部員が現れるのではと期待しています。

最近、ホワイトボードを使って、先輩が後輩たちに、プログラミングをレク

チャーする姿が見られるようになりました。頼もしい限りです。「ロボットやプログラムを作っているだけではない。自分たちは、ロボットプログラミング部そのものを作っているんだ」。そんな志や自負が、少しずつ育ってきたような気がします。



◎このコーナーにご寄稿いただける **学校を募集** しております。お気軽に info@ioi-jp.org までご連絡ください

JCIOI TOPICS

情報オリンピック関連の話題をお送りします

JOI・JOIGは新たなステージへ

日本情報オリンピックの開催方式が新しくなります

情報オリンピック日本委員会競技運営委員長 伊藤哲史

情報オリンピック日本委員会では、これまで、「日本情報オリンピック (JOI)」とともに、女子中高生の皆さんがプログラミングに取り組むきっかけとなる「日本情報オリンピック女性部門 (JOIG)」を開催してきました。JOIG参加者は、年々増加しており、女性参加者のレベルも上がってきました。そこで2025/2026年度大会では、従来の大会形式からいくつかの変更を行うことになりました。

これまで同様、一次予選・二次予選は 全国どこからでも参加できます

JOI一次予選・JOI二次予選の実施方法に変更はありません。これまで同様、AtCoder社の競技システムを用いてオンラインで開催されますので、全国どこからでも気軽に参加して、自分自身の実力を試すことができます。一次予選・二次予選の参加費は無料です。

「JOIセミファイナルステージ」は オンサイト競技で実力をより高める機会に

「JOI本選」と「JOIG本選」は統合され、新たに「JOIセミファイナルステージ」として、2026年

1月25日(日) オンラインで開会式・ガイダンス・講演会・参加者交流会
2月1日(日) 東京都内の会場で競技実施

の2日間にかけて行われます。オンサイトで開催される競技が、全国の参加者が一同に会して、互いに切磋琢磨して実力を高める場となることを願っています。

JOIセミファイナルステージ以降の参加費は、5000円です。

2025/2026年度大会は、オンサイト開催の費用の一部を参加者にご負担いただきます。

「JOI・JOIGファイナルステージ」で 国際大会への切符に挑戦しよう

春季トレーニングは、新たに「JOIファイナルステージ」「JOIGファイナルステージ」として、2026年3月20日(金)～3月24日(火)に東京都内の会場で実施されます。

ファイナルステージの競技結果等に基づき、国際情報オリンピック (IOI)・ヨーロッパ女子情報オリンピック (EGOI)の日本代表選手が選ばれます (JOIGファイナルステージ進出者が、JOIファイナルステージに参加した場合のEGOI代表選手決定は別途定めます)。ファイナルステージの成績優秀者にはメダルが授与されます。

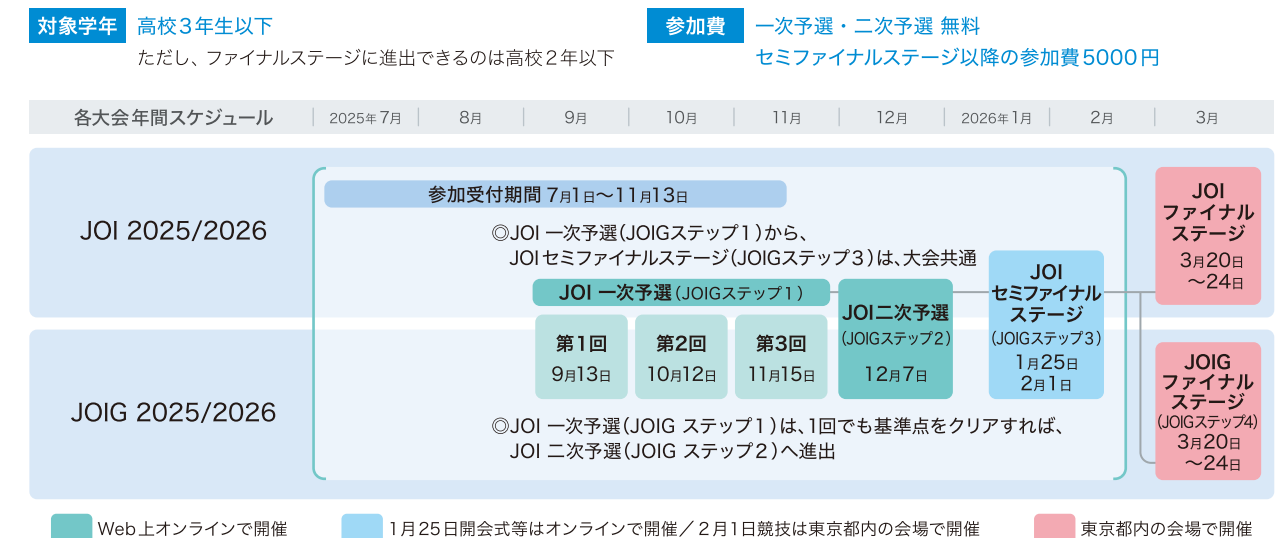
全国を6つのブロックに分けた各地域における成績優秀者を奨励する制度「ブロック制」は、これまで地方からの参加の促進を目的として実施してきましたが、実力で上位進出する参加者が増えてきたことから、その役割を終えつつあると判断し廃止します。

新たな開催方式となるJOI・JOIGを通じて、一人でも多くの方がプログラミングや情報科学の興味を広げ、実力を大きく伸ばしてもらうことを願っています。2025/2026年度大会への皆さんの挑戦をお待ちしています。

■詳細は「実施概要」をご覧ください
<https://www.ioi-jp.org/25thjoig6thjoig>



国内大会 年間スケジュール





現実世界を計算可能にする。



次世代のための財団
A Foundation for the Next Generation

正解より別解

正解は1つ。別解は無限。

正解は過去。別解は未来。

正解は無難。別解はドキドキ。

正解はロジック。別解はマジック。

正解、なんかで、満足か。

クリエイティビティで、この社会に別解を。

・HAKUHODO・

株式会社博報堂 <https://www.hakuhodo.co.jp/>

つぎの未来へ。

インターネットの未来を想い、
新たなイノベーションに挑戦し続けていきます。

それは、つねに先駆者として、
インターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの

これからも変わることのない姿勢です。



Internet Initiative Japan

株式会社インターネットイニシアティブ



君がつくる、ちょっといい未来。
皆様のご活躍を応援しています。



鈴木与シンワート株式会社



<https://shinwart.co.jp/>



日本大学 文理学部 情報科学科



HEARTS
TECHNOLOGY



Members
DevOps Lead



NTT
東日本

「第24回日本情報オリンピック」と「日本情報オリンピック第5回女性部門」は、
次の機関から後援いただきました。

文部科学省／経済産業省／総務省／デジタル庁／独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）／大学共同利用機関法人情報・システム研究機構
国立情報学研究所／一般社団法人 情報処理学会／一般社団法人 日本ソフトウェア科学会／一般社団法人 電子情報通信学会／一般社団法人
日本教育工学会／一般社団法人 教育システム情報学会／全国高等学校情報教育研究会／情報学科・専攻協議会／日本情報科教育学会／
全国高等学校パソコンコンクール実行委員会／特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会／スーパーコンピューティングコンテスト実施
委員会／独立行政法人 国立高等専門学校機構／全国高等学校長協会／公益社団法人 全国工業高等学校長協会／全国商業高等学校長協会／
公益財団法人 情報科学国際交流財団／一般社団法人 情報サービス産業協会／一般社団法人 日本IT団体連盟／一般社団法人 ソフトウェア協会



不動産市場に、テクノロジーを

いい生活



公式note



Hewlett Packard Enterprise

FUJITSU

未来はいつも、
誰かの思いから
はじまる。

世界に、未来への確信を届けたい。
社会課題を解決する「Fujitsu Uvance」から。

Fujitsu Uvanceの取り組みについてはコチラ



Fujitsu
Uvance



プログラミングコンテストに参加して上位を目指そう！

中高生対象学校対抗競技プログラミング

参加無料！



開催期間：2025年4月1日～9月30日 参加受付：2025年4月1日～7月31日
毎週土曜日 午後9時～ AtCoder Beginner Contest を開催中

詳しくは公式サイトをご覧ください。 <https://atcoder.jp/contests/ajl2025summer>



教職員の皆様へ

AtCoder 社長 高橋直大による無料講演を実施します。

- ★ 講演内容：「競技プログラミングの世界とその魅力（仮）」（応相談）
- ★ 対象：競技プログラミングに興味がある学校の教職員・生徒・保護者
- ★ 形式：オンライン / 学校訪問（応相談）
- ✉ お問い合わせ：ajl.support@atcoder.jp



参加登録は
こちらから

主催 AtCoder 株式会社

お問い合わせ先 AtCoder 株式会社 AJL 運営事務局
Mail: ajl.support@atcoder.jp

参加には AtCoder Junior League 2025 Summer への参加登録（無料）が必要となります。
また、参加登録をするには AtCoder ユーザ ID（登録無料）でログインする必要があります。

顧客満足度
調査
2024-2025
日経コンピュータ
ERP部門
1位

2024年9月5日号
顧客満足度調査
2024-2025
ERP部門
1位

パートナー
満足度調査
2025
日経コンピュータ
ERP
1位

2025年3月6日号
パートナー満足度調査 2025
ERP部門
1位

OBC 6年連続 通算17回目の第1位を獲得
(受賞年:2005年～2011年、2014年～2017年、2019年～2024年)
※本調査は製品ではなく企業を対象にしたものです。

業務のDX化は
奉行クラウドに
おまかせあれ！



株式会社 オービックビジネスコンサルタント
（東京）〒163-6030 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オクタワ-30F TEL.03(3342)1870(代) FAX.03(3342)1874

（札幌）TEL.011(221)8850(代) （静岡）TEL.054(254)5966(代) （広島）TEL.082(544)2430(代)
（仙台）TEL.022(215)7550(代) （金沢）TEL.076(265)5411(代) （福岡）TEL.092(263)6091(代)
（関東）TEL.048(657)3426(代) （名古屋）TEL.052(589)8930(代) （横浜）TEL.045(227)6470(代) （大阪）TEL.06(6367)1101(代)

Moving forward
in harmony.



NTT data



国内大会 年間スケジュール



JOI 2025/2026

第25回 日本情報オリンピック

IOI 2026 (第38回 国際情報オリンピック) ウズベキスタン大会 日本代表選手を選抜



www.ioi-jp.org

JOIG 2025/2026

第6回 日本情報オリンピック 女性部門

EGOI 2026 (第6回 ヨーロッパ女子情報オリンピック) 日本代表選手を選抜

対象学年 高校3年生以下

ただし、ファイナルステージに進出できるのは高校2年以下

参加費 一次予選・二次予選 無料

セミファイナルステージ以降の参加費 5000 円

各大会年間スケジュール | 2025年7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 2026年1月 | 2月 | 3月

JOI 2025/2026

参加受付期間 7月1日～11月13日

◎JOI 一次予選(JOIGステップ1)から、
JOI セミファイナルステージ(JOIGステップ3)は、大会共通

JOI 一次予選 (JOIGステップ1)

第1回
9月13日

第2回
10月12日

第3回
11月15日

JOI二次予選
(JOIGステップ2)
12月7日

JOI
セミファイナル
ステージ
(JOIGステップ3)
1月25日
2月1日

JOI
ファイナル
ステージ
3月20日
～24日

JOIG 2025/2026

◎JOI 一次予選(JOIG ステップ1)は、1回でも基準点をクリアすれば、
JOI 二次予選(JOIG ステップ2)へ進出

JOIG
ファイナル
ステージ
(JOIGステップ4)
3月20日
～24日

Web上オンラインで開催

1月25日開会式等はオンラインで開催／2月1日競技は東京都内の会場で開催

東京都内の会場で開催

▶詳細はP.13をご覧ください

主催 一般社団法人情報オリンピック日本委員会

共催 国立研究開発法人科学技術振興機構



情報オリンピック日本委員会の活動をご支援ください

情報オリンピック日本委員会の活動は、国立研究開発法人科学技術振興機構や、協賛企業各社、及び篤志の協力者のご寄付に支えられています。ご寄付を賜ります場合は下記のWebサイトよりお振込みくださいますようお願いいたします。情報オリンピック日本委員会にご支援くださった方には、日本情報オリンピックの表彰式(毎年3月)へご招待します。また、情報オリンピックPR誌(年2回発行予定)を送付します。クレジットカード払い、もしくは銀行振込がご利用いただけます。

クレジットカードのご利用も可能です



◎詳しくはWEBサイトをご覧ください。皆様のご支援をお待ちしています
<https://www.ioi-jp.org/donation>

